



**Daiwa House®**  
Group

報道関係各位

N e w s L e t t e r

2014年11月12日

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

**■地域に開かれた住商一体のサスティナブルコミュニティ  
「SMA×ECO CITY (スマ・エコ シティ) 相模原 光が丘エコタウン」が  
「土地活用モデル大賞」審査委員長賞を受賞しました**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）が神奈川県相模原市で開発・販売中の、省エネ・環境に配慮した住商一体型のスマートコミュニティ「SMA×ECO CITY (スマ・エコ シティ) 相模原 光が丘エコタウン」（神奈川県相模原市）が、「平成 26 年度土地活用モデル大賞」において「審査委員長賞」を受賞しました。



**●地域に開かれた住商一体のサスティナブルコミュニティ**

2013年6月に分譲を開始した「SMA×ECO CITY (スマ・エコ シティ) 相模原 光が丘エコタウン」は、神奈川県が進める「かながわスマートエネルギー計画」に対応したまちづくり事業として、街全体をスマートコミュニティとして計画・運営することを目指しています。

全127戸に家庭用リチウムイオン蓄電池（6.2kWh）や当社オリジナルのエネルギーマネジメントシステム「D-HEMS II（ディー・ヘムス ツー）」、太陽光発電システム、電気自動車用コンセントを導入するとともに、街区設計には、風の通り道など自然の力を上手に利用するパッシブデザインを採用しています。

また、商業施設（スーパーマーケット）や地域住民のための共用施設「光が丘ふれあいセンター」、街区公園などの一体整備により、生活支援機能を伴ったスマートコミュニティの実現を図っています。

これらの取り組みが、今後の様々な土地利用転換ニーズに対して多くの示唆を与えるものとして評価されました。

## ●土地活用モデル大賞について

「土地活用モデル大賞」（主催：一般社団法人都市みらい推進機構、後援：国土交通省）とは、活気に満ちた地域社会の実現・地域主権の推進を図るため、都市再生・構造改革特区・地域再生及び中心市街地活性化を含めた、地域活性化の総合的・効果的取り組みの推進が求められるなか、こうした課題を踏まえて土地の有効活用や適切な維持管理に取り組む、土地活用の「成功モデル」となる模範的事例を募集し、優れた事例について表彰を行い、全国的に紹介し、その普及を図るものです。

## ■事業概要

事業名称	「SMA×ECO CITY（スマ・エコ シティ）相模原 光が丘エコタウン」
所在地	神奈川県相模原市中央区光が丘 2 丁目 5209-157 他
交通	JR 横浜線「淵野辺」駅から神奈川中央交通「淵野辺駅行き」約 10 分乗車 「光が丘小学校前」バス停下車、徒歩 1 分
開発面積	34,869.48 m <sup>2</sup>
売主	大和ハウス工業株式会社
施工	大和ハウス工業株式会社
販売開始	2013 年 6 月
総区画数	127 戸

### 【 未来を、つなごう We Build ECO 】



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以 上

お問い合わせ先

広報企画室 東京広報グループ 03-5214-2112